

11/17

川村勝彦さんと白石小PTAに

全国PTA表彰



▲菅野村長へ受賞の報告に訪れた菅野会長（写真左）と川村さん（写真中央）

今年度の日本PTA全国協議会表彰式で、川村勝彦さん（草野）と白石小PTA（菅野賢会長）が、日本PTA全国協議会長表彰を受けました。

川村さんは長年のPTA活動の功績が、白石小PTAは地区と合同の取り組みなどが認められ、今回の受賞となりました。

川村さんと菅野さんは「会員や地域の協力をいただき、今回の賞を受けることができました。皆さんに感謝しています」と受賞の感想を話していました。

手作りのミニ門松で新年を

11/15



▲草野ミニデイと元気会の会員たち

草野会館で行なわれた11月の草野ミニデイサービスで、会員たちがミニ門松を作りました。

これは、同ミニデイが今年度の事業計画の一つとして、草野七福老人会元気会（栴沢元一代表）の協力を得て、初めて取り組んだものです。

会員たちは元気会の皆さんの指導を受けながら、1時間かけて高さ50cmほどのミニ門松を作り上げました。

会員たちは、「早速この門松を家に飾りたい」、「良い正月が迎えられそう」と満足気に話していました。



▲会員が作ったミニ門松

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



和やか 華やかな楽しい同級会 11/11 70歳到達同級会

今年の「70歳到達同級会」が宿泊体験館きこりで行われ、出席した65人の同級生が旧交を温めました。

この同級会は、敬老会の招待者年齢が75歳に引き上げられたことから、70歳を迎えた節目に同級会を行い、互いの長寿を誓い合うことなどを目的に、対象者による実行委員会と村が主催しています。今年も13人の実行委員会（木幡一郎実行委員長）を結成し、準備を進めてきました。

同級会では、昔の授業風景や生活のようすなど懐かしい



▲乾杯する出席者ら



▶同級生たちによる演技



写真をスクリーンに映して青春時代を振り返ったほか、出席者による演芸やカラオケなどが次々に披露されました。

会場内は和やかな雰囲気になり、出席者たちは時間が経つのを忘れて楽しいひと時を過ごしていました。

この同級会は今回が5回目。村が主催するのは今年で最後となります。

飯館村婦人会に 厚生労働大臣表彰

11/10

長年のボランティア活動に対して

飯館村婦人会（上田秀会長）が、ボランティア功労者として厚生労働大臣表彰を受けました。

同会は13年以上にわたり一人暮らしのお年寄り配食サービス（調理ボランティア）に取り組んでいます。今回はその活動が評価されたの受賞となりました。

伝達式は福島県庁で行なわれ、村瀬久子保健福祉部長から上田会長に表彰状が贈られました。

上田会長は「皆さんのご協力によって大変名誉な賞を受けることができ、会員一同喜んでいきます」と、受賞の喜びを話していました。

村婦人会は、平成10年にもボランティア功労として県知事表彰を受けています。



▲後列左から佐野ハツノ副会長、西尾ツネ副会長、前列左から小山茂社協会長、上田秀会長

こころの
ぽけつと



贈ってみよう
「あなたの温かな
心」を

日本は世界一安全な国であったはずなのに、近頃、世界一危ない国に近づいているような気がしてなりません。

震度5で倒れるマンションが建ち、電車に乗ればカーブをスピード出し過ぎて100人も人をペチャコンコにしてしまう。現代産業ともてはやされたライブドアや村上ファンドは、結局あぶく銭のマネーゲームだったという話、そして毎日のように親が子を殺し、子が親を殺し、理由なき無差別殺人などが起きている日本です。

何ゆえ、このような国になってしまったのでしょうか。

全てに当てはまる理由は、戦後一貫して効率一辺倒、合理的に、スピーディーに、お金が全てという価値観のみで走ってきた後遺症が噴き出していると言つて良いのではないのでしょうか。効率やスピードのみの基準で世の中を進めていくと、人と人との関係が大変希薄になり、他人に近づいていきます。他人に近づくと、「自分さえよければ他人はどうなっても良い」という考え方になり、前に述べた事件が多く起きてくるのです。

人と人とのつながりが都市部より深いはずの飯館村も、家庭のことや子どものいじめ問題が無いわけでもありません。少しでも解決への行動が必要です。

そこで、一つとして「家族の心のふれあい」をいうことで、立村50周年を記念して「10年後に配達される手紙」を進めたところです。

まだ300通ほどです。期限は12月25日まで。たった一言、「ありがとう」、「感謝しています」、「嬉しかった」、「頼むね」、「頑張つてね」とあなたの心の中の思いを家族の方に贈ってみてはいかがでしょう。

平成18年11月30日

飯館村長 菅野 典雄

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
佐藤亜紀ちゃん	修治・順子	前田
山崎翔くん	学・王会	比叡
村上空美ちゃん	真平・克枝	前田
小林凜ちゃん	友和・友恵	深谷
村山晃瑠くん	博仁・由貴	深谷

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
佐藤新也	伊丹
菅野千恵子	福島

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
石川節子	73	比叡
但野充	79	草野
伊藤ギン	87	長須
阿部直人	45	佐須
大内直人	93	伊丹
松林マサヨ	85	伊丹

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき

(平成18年11月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3263人 (-3人)	3347人
女	3298人 (-2人)	3366人
計	6561人 (-5人)	6713人
世帯数	1745戸 (+1戸)	1737戸

◆10月1日～31日までの人口動態◆
 転入 20人 転出 20人
 出生 5人 死亡 10人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)



▲庄司会長へ諮問する村長

上下水道料金の見直しガスタート

10/23 第4次飯館村水道事業・農業集落排水事業運営審議会

この日の出演は、福島市在住で音楽家・ハープ奏者の長谷川朝子さんと桑裕子さん(ピアノ)、松本麻希さん(バレエ)の3人。コンサートに先立ち開会セレモニーが行なわれ、菅野村長が「皆

村の上下水道料金は、3年毎に見直しを行なっています。見直しに当たっては、村が「水道事業・農業集落排水事業運営審議会」へ諮問し、その審議会で新しい料金や経営内容等を検討することになっていきます。

役場会議室で開かれた今年度1回目の会議では、村長が委員会へ上下水道料金の見直しについて諮問した後、担当者が現在の水道事業の概要や経営状況等について委員へ説明しました。

審議会では今後12月と2月に会議を開き、来年2月末までに検討結果を村へ答申する予定です。

第4次飯館村水道事業・農業集落排水事業運営審議会委員 (敬称略)

会長・庄司和明(白石)、副会長・荒利喜(飯桶町)、委員・菊池恵子(草野)、長谷川圭子(宮内)、赤石澤久代(上飯桶)、菅野民雄(比叡)

※任期・平成20年3月21日まで

村の新しい特産品

白酒「愛のうわすみ」

期間限定で販売中!

おこし酒小委員会(菅野敬委員長)では、村の新たな特産品として白酒を開発し、村内の酒小売店で販売しています。その名も「愛のうわすみ」。

これは、村がどぶろく特区に認定されたことにちなみ、酒の製造過程で出来る白酒を製品化したものです。製造は「おこし酒」と同じ大和川酒造へ委託しており、価格は1本(720ml)1050円。来年3月までの限定販売ですので、この機会にぜひご賞味ください。

ほのぼのと… ホンモノの音楽を

草野小学校体育館で「ほのぼのコンサート」が行なわれ、村内の幼稚園児や小学生たちがハープやピアノ、歌などの美しい音楽を楽しみました。

これは、子どもたちに本物の音楽を聞いてもらおうと、立村50周年記念事業として村が主催したものです。



▲コンサートのようす

10/31 立村50周年記念事業 ほのぼのコンサート

皆さん美しくてやさしい気持ちを持って欲しいと企画したコンサートです。ぜひ楽しんでください」とあいさつ。続いて、大谷友孝村議会総務文教常任委員長から来賓あいさつが述べられました。

コンサートでは、童謡やアニメソングをはじめ、手話を交えた歌など計10曲が披露され、演奏が終わるたびに子どもたちが大きな拍手を送っていました。

また、コンサートの合間には、代表の子どもたちが長谷川さんに手ほどきを受けながらハープの演奏体験も行いました。

コンサート後、子どもたちは「とてもきれいな歌と演奏だった」「知っている音楽が何曲も聞けて楽しかった」などと、うれしそうに感想を話していました。



▲ハープの演奏体験をする子どもたち

飯館中学校多目的ホールで「中学生と村長の対話集会」が開かれ、中学2年生73人が、これからの村づくりなどについて村長と意見交換をしました。

この集会は、生徒たちが飯館村について理解を深めるとともに、地域社会の一員であることを自覚し自ら行動することの大切さを理解してもらおうと、同校が



▲対話集会のようす

最後に、菅野村長が「中学生の皆さんが自分たちで企画して実行する村づくりの活動に対して、来年度予算の確保を検討してみたい」と話すと、多くの生徒が「ぜひ取り組みたい」と賛成し、協働の村づくりに意欲を見せていました。

11/14 みんなで協働の村づくりを 中学生と村長の対話集会

昨年から実施しています。

集会では、はじめに菅野村長が命の大切さや村の「まideaライフ」の取り組み、住民と行政の協働などについて講話。続いて、生徒たちから街路灯の設置予定や除雪対策、ゴミの不法投棄問題、これからの村づくりなどについて質問が出され、菅野村長が各質問に答えました。